

大切な
甲賀市の自然 14

甲賀市内にすむ
絶滅が心配される動植物や
それらを育む大切な
自然についての連載です

ホタルの飛ぶ
水辺



〔写真上〕ゲンジボタル：
体長1.5センチ前後と大きい。2
～3秒の間、ポーッと連続して
光っては消える。



〔写真下〕ヘイケボタル：
体長1センチ弱と小さい。チカ
ッ、チカッと点滅を繰り返す。

皆さんがご存じのホタル。市内には、まだ観察できる場所が結構あり、地域の方が大切にしておられます。ゲンジボタルとヘイケボタルが有名ですが、それぞれどんな環境にすむのでしょうか？

ゲンジボタルは5月下旬～6月頃に成虫が現れます。幼虫は主に巻き貝（カワニナなど）を餌としており、緩やかな小川や小河川に見られます。川の水質は、少し汚れていて良いのですが（カワニナは有機物のたまる場所に多い）、冬に干上がったたり、夏に生温かくなる川には住みません。山からの水や湧き水の量が安定していることがポイントです。また、土中で蛹さなぎになること、コケや草の根際に卵を産むことから、川岸に土の部分が必要です。さらに、成虫が止まる草木や、ライトの当たらない暗闇（木陰など）も必要です。

ヘイケボタルはゲンジより遅く、6月から夏にかけて成虫が現れます。水田や流れのほとんどない溝に幼虫がすみますが、水田や溝の排水がよくなったことと、人工の光に惑わされやすくオス・メスの交信ができないため、最近、ヘイケの方が減っています。

6月の
休園日

4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は、水口町文化協会からお寄せいただきました。

- ・ 始むより止める決断つけがたく老い故淋し大正琴止めるとき 東 みき
- ・ かなわぬと知りつつ夢をひたすらに老いの願いを鈴ふり祈る 中島 たき
- ・ 意思強くもたねばならぬと歩行練習病院の廊下をいつたりきたり 治武 美代
- ・ 頂きし玩具を曾孫は余念なく使いわけつつ手をたたきおり 山田美代子
- ・ あちこちで地震の報道聞くたびにいつ我が地もとか思い戦く 鈴木 貞子
- ・ スーパーに並べる野菜旬はなく我が家の大根土の匂いで 竹田 貞子
- ・ 銀盤の華麗なる舞に息をのむ感動の演技逆転に湧く 大野 澄子
- ・ ホームステイ迎えしドイツ青年に老いは贈り浴衣に扇子 渡辺 久江
- ・ 遠き日の思いこもごもたぐりつつ賀状何度も読み返し居り 今村 寿賀
- ・ さわやかに目醒めし朝スムーズな手足の動きに幸せ覚ゆ 安楽 忍
- ・ ウインドは若草色に装いて春待つ心にほほえみかける 田中とも子
- ・ 名残り雪なき山々は春かすみうぐいすの声今だきこえず 山脇 敦子
- ・ ひと日ごと花開く数増えゆきて華やぎ見せるこぶし咲く庭 岨中 民子
- ・ 暖冬の証か弥生入りて早や初掘り竹の子夕餉の一品に 林田美代子
- ・ 「バイバイ」と母に抱かれて小さき手をふる幼子の笑顔いととき 伴 その

次号（7月1日号）は、信楽町文化協会の予定です。